

週刊新潮

11月23日号
400円



45

ハルキ文庫新刊 吉村喜彦「二子玉川物語」

本書の帯には、月の美しい夜、ちよつと寄り道してみませんか？とお誘いがあり、その寄り道の先こそが二子玉川にある大人の隠れ家「バー・リバーサイド」。



「二子玉川物語」の帯。月の美しい夜、ちよつと寄り道してみませんか？

大阪生まれで江戸前の寿司職人を目指す男、日本でシールドル造りを決意した女性等を選暦のマスター川原と、おちちよちよの30歳イケメンパーテンドーの琉平が、ポケと突っ込みの名コンビを演じつつ、温かくもてなす物語だ。問合せは角川春樹事務所書籍編集部・原知子 ☎03-3263-5247。

損保協会2018年度「全国統一防火標語」募集

一般社団法人・日本損害保険協会（会長・原典之）は、家庭や職場、地域での防火意識高揚のため2018年度の「全国統一防火標語」を消防庁と共催で募集

中。今年度の防火ポスター



モデルは清原果耶さん。起用し、「火

の用心ことばを形に「習慣に」が標語に起用された。審査員は作家の角田光代氏と消防庁、同協会関係者。締切は今月末。応募は特設サイト <http://www.boukaiyougo.jp>、



右記QRから。パソコン、スマートフォンから一人何度でも応募可能。但し、1回につき標語1点のみ。問合せは同協会業務企画部 ☎03-3255-1129

「村治佳織 シュテファン・コンツ」デュオコンサート

クラシックギターの関秀奏者として日本の第一人者の村治佳織と、ベルリン・



フィルハーモニー管弦楽団

のチェリスト・シュテファン・コンツが11月27日19時

から浦安音楽ホール・コンサートホール（J.R.京葉線・武蔵野線「新浦安駅」南口から徒歩1分）で協演する。プログラムは、シュベルト「アルペジオーネ・ソナタ」、フアリヤ「7つのスペイン民謡組曲より」等。問合せはKSコンサート実行委員会 ☎080-9447-5674。チケット購入はチケットぴあ ☎0570-02-9999（Pコード・345623）か <http://pia.jp>。

稲垣麻由美著「人生でほんとうに大切なこと」

株式会社KADOKAWAから刊行された本書は、精神腫瘍科（がん専門の精神科）の存在を広く知って



欲しいという、ひとりのがん患者の切実な想いが結実した。著者の稲垣麻由美氏は文筆家で株式会社一凛堂代表取締役。「命」と「想い」をテ

マに執筆活動を続けている。国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科・清水研氏が静かな対話で患者の苦悩を解いていく様が活写された一読に値する書である。問合せは <http://www.kado-kawa.co.jp/>。

荒俣宏「鉄鋼スラグと いう名の海の救世主」

鉄鋼スラグとは、鉄鉱石から鋼を作り出す段階で生まれる副産物のこと。主に



土木工事、地盤改良等の産業資材として使われているが、近年は、藻場の再生や水質の浄化など、海の環境改善に役立てられている。それにしても何故、鉄鋼スラグが海の環境改善に役立つのか？ その謎を博物学者の荒俣宏氏（写真）とフリーアナウンサーの八塩圭子さんが「荒俣宏エコスベシヤル 豊かな海を取りもどせ」鉄鋼スラグという

名の海の救世主（BSフジ環境ドキュメンタリー11月26日13時）で解き明かす。両名とも無類の海好きにしてダイビング愛好家。迫真のレポートは必見だ。問合せは鉄鋼スラグ協会本部 ☎03-5643-6016。

「鹿児島黒牛」日本一 キャンペーン開催中

5年に一度開催される和牛の祭典「全国和牛能力共進会」で鹿児島黒牛が団体総合優勝した。



JA鹿児島県経済連は、それを記念して豪華なプレゼント企画を11月末まで開催中。期間中、クイズに答えて正解すると抽選で「チャピオン牛 すき焼き用 ロースライス400g」を含む鹿児島黒牛が計220名に当たる。「鹿児島黒牛日本一」を検索、または応募サイト http://www.karen-j.or.jp/kagoshimakuroushi_nolep/index.html からアクセスを。